

『焼き板クラフト』

焼き板クラフトは、日高山脈に自生するトドマツを利用し、バーナーで焼き上げる活動である。表面の木目を生かしながら、イラストや文字を描き、部屋の表札や飾り物に仕上げていく。思い出の品にするだけでなく、お土産としてご家族などに渡すこともできる。

【時期】 通年

【所要時間】 2時間以上

【対象】 小学校高学年以上

【定員】 60～140名

* 職員による説明が必要な場合は60名まで。

職員による説明がなく団体で実施する場合は140名まで。

【準備】 (個人) 軍手、筆記用具、(下絵)

(団体) 焼き板材料(板・紐・フック)、雑巾、新聞紙、ゴミ袋

* 焼き板材料は、事前に教材等購入申込書を提出して購入する。

(自然の家) ガスバーナー、バーナー用ガス、紙やすり、布きれ、カラーマーカー、筆、
絵の具、キリ、作業用コンパネ

【指導】 自然の家職員は、道具の使い方と作業手順の説明のみ行う。活動中の安全管理は団体引率者が行う。

【展開例】

1. 活動の準備をする(机の上に作業用の板を敷く。制作はこの板の上で行う)。
2. バーナーで板の表面(表・裏・横など)を焼く。※やけど防止のため軍手を着用すること
机を溶かさないうために、グループで濡らした新聞(朝刊1日分)を写真のようにしく。また、木の板は立て、板は手で持たないようにする。

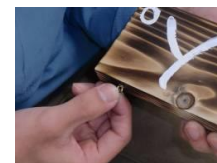


①バーナーを人のほうには向けないこと

②バーナーの上のほうを持ってヤケドをしないようにしよう



3. 木目を生かしながら、布きれで光沢が出るまで磨く。
4. 板材に下絵を書き、カラーマーカーや絵の具で絵を描く。
5. 乾燥したら、キリで穴を開けた後、ひもとフックを取り付ける。
6. 活動終了後、後片付けや整理整頓・清掃をしっかりとる。



【指導上の留意点】

1. 道具は、クラフト庫などにあるが、事前に自然の家の職員に場所を聞いておく。活動終了後にもこの場所に道具を戻すことになるので、道具の保管場所をしっかりと覚えておく。
2. 絵や文字を描くときには、あまり絵の具に水を入れ過ぎないようにする。
3. 緊急性の高いアクシデントが起こった場合自然の家事務室(内線213)に連絡する。

* youtube「日高 sun 太ちゃんねる」でも動画を公開中。

右のQRコードを読み込むか、「日高 sun 太ちゃんねる」で検索してください。



【参考】 ◎図画工作 ～ 材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようになる。
教科との
関連